

平成29年5月19日

農作物生育・技術情報1号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稻生育状況（5月15日現在）中苗（日高町・平取町平均）

4月中旬以降、断続的な低温があったものの、苗の生育は平年並みに推移しています。移植作業は風の強い日や極端に寒い日は避けて、天候条件の良い日に行い活着を高めましょう。

品種名	生育状況		遅速日数	苗質の目標（移植時）
	項目	28年		
ななつぼし	草丈 葉数	10.5cm 2.9葉	10.5cm 2.9葉	±0 中苗：草丈10～12cm、葉数3.1葉～ 成苗：草丈10～13cm、葉数3.6葉～

移植直後から活着期まで、細やかな水管理が必要です。

時期	目標水温	水深	水管理の注意事項
移植直後～ 2日目	22～25℃ 最低15℃以上	通常2～3cm ※1	・移植直後は、速やかに入水して苗を落ち着かせ、低温や風の強い日は苗が埋没しない程度の深水管理で苗を保護する。 ・2日目以降は晴天時は通常2～3cm浅水管理にする。
移植3日目～ 活着まで		通常3～4cm ※1	・畦畔等に漏水がないか確認する。 ・止水管理で水温を保つ。
活着期～	23℃～25℃ 分けつ促進 昼間30℃ 夜間15℃	通常4～6cm ※1	・低温が予想される時は、深水管理で苗を保護する。 ・かんがい水は早朝に行い、止水管理を行う。

※1：低温や強風等が予想される場合は、草丈の3/4の水深にします。

品種の管理には十分注意し、異品種混入を防ぎましょう！

2 畑作物の栽培管理

(1) 秋まき小麦 粒重・タンパクの充実を図る時期です。

適正な分追肥により品質、収量の向上を目指しましょう。

【施肥窒素量】

幼穂形成期（H29年：5月8日）～ 止葉期



4～6kg/10a

(2) 豆類 は種作業

地温10℃以上確保でき、降霜の恐れがなくなったらは種時期です。晩霜に注意し適期は種に努めましょう。

3 主要野菜の生育状況と技術対策

生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況	技術対策
トマト	3月定植 ・第1花房収穫中で第5～6花房が開花。 ・5月からの好天に恵まれ生育は順調に進んでいる。 ・第3花房直上葉から葉先枯れ症状が見られる。 ・第3～4花房でがく枯れ症状が見られている。	・トマトの草勢を見ながら追肥量とかん水量を加減する。 ・葉先枯れ症状対策として、重炭酸カリ等で補う。 ・高温・乾燥時には落花やがく枯れが発生しやすくなるので、晴天時には多めにかん水をする。 ・曇天続きになると葉先からの灰色かび病の発生が懸念されるので、摘葉や防除を行う。
ハウス軟白ねぎ	・12～1月定植収穫中 ・病害虫の発生は少ない。	・粘着板を設置し早期防除に努める。 ・ハウス内外の雑草（タンポポなど）処理を徹底する。
ハウス立茎アスパラガス	・春芽収穫～立茎移行期 ・ジュウソクビナガハムシ、アブラムシが一部で発生している。	

4 畜産

(1) 草地

- ①収穫時は、刈り取り高は10cm程度と、やや高めにしましょう。（チモシーの新芽を刈り取らない・土砂混入を避けるため、オーチャードも10cmでOK）。
- ②リードカナリーグラス主体ほ場は、早刈り（穂ばらみ期、草丈80cm程度）しましょう。
- ③植生状況と1番草生育状況を把握し、計画的な草地更新を進めましょう。

(2) 飼料用とうもろこし

- ①は種床作業は、土壌の乾き具合を見極め作業を進めましょう。
- ②ほ場のpHに応じてタンカルを散布しましょう。
- ③初期生育と耐倒伏性のため適期には種しましょう。
- ④雑草の薬剤処理は、薬剤により散布時期が異なりますので、ほ場確認し遅れないように散布しましょう。

(3) 家畜飼養

- ①衛生対策：農場畜舎への外部から（人、物、車両）の出入りを制限し、畜舎の各入口には必ず踏み込み消毒槽を設置しましょう。
- ②畜舎内は換気・清掃と採食量が落ちないように水槽・飼槽を適正に管理しましょう。

5 農作業安全対策 ～農作業事故が多い時期です!!～

余裕を持った作業計画で、事故防止に努めましょう。

作業予定を事前に確認しあい、適正な労働配分を考慮しましょう。